

平成27年8月臨時会会議録

平成27年8月11日 火曜日 午前10時00分開会

渋谷 佐輔 議長 五十嵐 智洋 副議長

出席議員 (16名)

1番	宇津木 正紀	議員	2番	浅野 敏明	議員
3番	金子 豊美	議員	4番	内谷 邦彦	議員
5番	平 進介	議員	6番	鈴木 富美子	議員
7番	渡部 秀樹	議員	8番	今泉 春江	議員
9番	梅津 善之	議員	10番	赤間 泰広	議員
11番	小関 秀一	議員	12番	五十嵐 智洋	議員
13番	蒲生 光男	議員	14番	安部 隆	議員
15番	町田 義昭	議員	16番	渋谷 佐輔	議員

欠席議員 (0名)

説明のため出席した者

内谷 重治	市長	遠藤 健司	副市長
加藤 芳秀	教育長	松木 幸嗣	厚生参事
孫田 邦彦	産業参事	横山 賢一	建設参事
近藤 智規	総務課補佐	渡邊 洋男	財政課長
遠藤 敏男	教育総務課長		

事務局職員出席者

飯澤 常雄	議会事務局長	小林 克人	補佐
若月 由紀	庶務主査兼庶務係長	鈴木 和夫	議事調査係長

議事日程

平成27年8月11日 火曜日 午前10時00分開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第 72 号 豊田小学校体育館大規模改修工事請負契約の締結について
(質疑、討論、表決)

本日の会議に付した事件

議事日程と同じ

9番 梅津善之議員
以上、3名の方をお願いいたします。

開 会

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

ただいまから平成27年第5回長井市議会臨時会を開会いたします。

開 議

○**渋谷佐輔議長** これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、鈴木一則総務参事から本日の会議を欠席させてほしい旨の届け出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

また、齋藤環樹総務課長が欠席のため、近藤智規総務課補佐が出席しておりますので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程をもって進めます。

なお、この日程につきましては、先ほど開催されました議会運営委員会にお諮りし、内定を見ておりますので、ご了承をお願いします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、会議録署名議員の指名であります。会議規則第81条の規定により、ご指名いたします。

7番 渡部秀樹議員

8番 今泉春江議員

日程第2 会期の決定

○**渋谷佐輔議長** 次に、日程第2、会期の決定であります。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。

これから上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員でご審議願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

日程第3 議案第72号 豊田小学校体育館大規模改修工事請負契約の締結について

○**渋谷佐輔議長** それでは、日程第3、議案第72号 豊田小学校体育館大規模改修工事請負契約の締結についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○**内谷重治市長** おはようございます。議案第72号 豊田小学校体育館大規模改修工事請負契約の締結についてご説明申し上げます。

本案は、去る7月30日に執行いたしました入札の結果に基づき、請負代金1億6,524万円をもって那須建設株式会社代表取締役社長、那須正と工事請負契約を締結するため、長井市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、ご提案申し上げますのでございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○**渋谷佐輔議長** 提案者の説明が終わりました。

これから質疑を行います。

なお、申し合わせにより、委員会付託を省略して全員による審議の場合、当日提案議案の質疑につきましては、一問一答の方式により行うこととされております。質疑の時間は、1人当たり答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、ご質疑ございませんか。

12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 横山建設参事にお伺いしますが、この工事は、要するに建設業者がAクラスというんですか……。

(「教育総務課長」と呼ぶ者あり)

○**12番 五十嵐智洋議員** ああ、課長に。じゃあ、遠藤課長にお尋ねしますが、このクラスの仕事ですと、Aクラスといういわゆる建設業者の方が対象になるということですか。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤敏男教育総務課長。

○**遠藤敏男教育総務課長** お答えいたします。

このたびの入札は、条件つき一般競争入札で執行いたしました。その条件つきという部分で、長井市の建築工事、Aランクに位置づけられている建設会社はその条件に合致する会社ということでございますので、五十嵐議員おっしゃるとおりでございます。

○**渋谷佐輔議長** ほかにございませんか。

12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** もう一度課長にお尋ねしますが、この入札調書を見ますと、入

札者が5社あって、3社が辞退されているということですが、もちろんせつかくの公共事業が出たわけですから、頑張って入札に参加するというのが通常だと思うんですけども、この3社が辞退されたという理由はおわかりですか。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤敏男教育総務課長。

○**遠藤敏男教育総務課長** お答えいたします。

辞退された理由については承知しておりません。それぞれの会社のご事情でこういうふうになされたものというふうを考えております。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 私、常々、建設関係の会社というのは、長井市内の優良な地場産業だというふうに6月議会でも申し上げました。それで、一時、建設不況、建設というのはいろいろ景気の波に左右される仕事であり、また、コンクリートから人へということで、があと仕事が減った時期がありまして、結構廃業とか整理された建設関係の会社もいらっちゃって、お聞きしますと、何か現場代理人がいなくて職人さんがすごく不足しているというふうなお話を聞くんですね。それで、せつかく仕事があってもとれないんだというふうなお話も聞こえるんですね。悲鳴のような声も聞こえるんですね。これぐらいの大きな工事ですと、やはり元請会社だけでなく、当然協力企業というグループで仕事をとると思うんですけども、この3社の辞退が出たというふうな背景には、こういった人を確保できないとか、そういった面があるんじゃないかと私は推察してるんですけども、その辺、課長はどうお考えですか。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤敏男教育総務課長。

○**遠藤敏男教育総務課長** お答えいたします。

この条件つき一般競争入札、ホームページのほうに公告いたしまして7月7日付で行ったわけですけども、先ほど申し上げました条件に合致する建設に携わる会社について、入札に参加してくださいというお知らせでございますの

で、その部分以外について、あとは、それぞれの会社さんがどう判断されるか、もちろんこの5社以外にも会社があったわけですが、申し込みをするしない、辞退するしないというのは、それぞれの会社のご事情でご判断なさっているというふうに考えております。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** そのとおりでと思うんですけども、私、冬場の市道の除雪なんかも心配しているんですね。もうとにかく今なかなか若い方が建設業に入らないというようなこともありまして、就職ガイダンス、今回もあったんですけど、行きますと、建設関係には並ばないんですね、話もなかなか聞いていただけないというようなことで、こういうふうな背景があって、非常にこれからの建設業を取り巻く環境は厳しいと思うんですね。

市長に伺いますけども、大切な地場産業、建設関連の業界が先細りになっては非常に今後の人口ビジョンとかにも影響があると思うんですね。ですから、せつかくのこういう工事が出たときには、何社も競って来ていただいて入札に参加していただきたいと思うんですけども、今後の建設業界の人材育成等について、ちょっと話はすごく大きくなるかもしれませんが、市長はどのようにお考えになっているのか、お聞かせ願えればと思います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

まず、このたびの入札の5社がエントリーされて3社辞退されたという、その原因は、建設物価がまたさらに上がっておりますので、大規模改修でどういったところの部分が厳しかったのかわかりませんが、恐らく、一般競争入札ということですから、予定価格を公表するんですね、当然予定価格を下回らないとこれは失格になりますので。したがって、エントリーをして設計等の閲覧ができます。その内容

を見て、これは単価的に厳しいということで辞退されたのではないかとというふうに、私なりの推測でございます。設計自体は26年度にやっておるわけでございますので、1年間で、ある部分についてはかなり高騰しているということも影響されてるんだと思います。

お尋ねのこれからの人材育成なんですが、長井市内の従業員数といえますか、いわゆる雇用されている数で一番多いのは製造業でございますが、2番目が建設業でございます。サービス業全体ではもちろんサービス業のほうが多いんですけども、個別の業種で見ると製造業は非常に大きいと。したがって、五十嵐議員がおっしゃる人材の育成とか将来のこれから建設の特に長寿命化とか、あるいは長井市においては公共施設等々の整備が必要不可欠でございますので、そういった意味では、まずはきちんと定期的な必要な工事を発注すると。しかも、できるだけ市内の本社あるいは支店がある企業に落札していただくような、請負っていただくような、そんな工事を継続して行っていくことと同時に、中・長期の長井市のそういった建設の計画みたいなものも示しながら、やはり製造業のみならず、建設業でもしっかりと先の見通しを立てられることができるようにこちらでお示しながら、しっかりと人材の確保もしていただきたいと。

ただ、人材の育成についての私ども市の今の今、支援体制というのは全くしてないわけでございますが、そういった意味では、製造業においては技能検定なんかの支援などはさせてもらってるんですね。同じように、有資格、資格が必要ですから、土木のいろんな資格があって、1級、2級とか、建築もあるわけですから、そういった資格を取られる際に、市のほうで製造業と同じように助成するというようなことも検討していかなくちゃいけないのかなというふうに思っているところでございます。以上でございます。

す。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** もちろん総合的に業者の方が判断して、資材の高騰とか、いろんな面で合わないからこれは辞退されたということもあると思うんですけども、人材不足というのは非常に深刻で、以前は長井工業高校にも建設に関する学科がありましたし、置賜農業高校にもありました。それがなくなりましたよね。米沢工業高校ははるかかなたに行ってしまいました。ですから長井市近辺の建設業界の方というのは、そういう人材確保に非常に苦労されている。私は9月議会で取り上げようと思ってますけども、山形工科アカデミー、これは今度、あれは県外の方を主にこれまで育ててきたんですけども、それをやっぱり市内のこういう将来の建設関係の後継者とか技術者を育てるものにもう特化すべきだというふうに考えております。

では、建設参事にお伺いしますけども、まず、市内の建設業者の方を訪問するなりをして、今、現実の声を経営者の方からお聞きすべきじゃないか、その先頭に、やはり、こういう参事制をしたわけですから、介護にあつては厚生参事とか、そういったことをやっていくのが今後の人口ビジョン、今、2.07というふうな15年後にはしたわけですから、これは非常にすぐにやるべきだと思うんですけども、建設参事のお考えをお聞きしたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 横山賢一建設参事。

○**横山賢一建設参事** 五十嵐議員のご質問にお答えいたします。

議員おっしゃるように、確かに建設業界の部分につきましては、いわゆる3K職場の一つというふうに言われておまして、なかなか人材が集まらない、集めにくいというふうな職場であろうかなというふうには私どもも認識しているところでございます。その中で、介護現場も含めて、どうしてもその3K職場のところにつ

きましてはなかなか人材の確保が困難だというようなところも聞こえてくるわけですので、おっしゃられるように、私どもも含めて、各そういうふうな建設現場のほうを抱えている会社さんのほうにお伺いしながら、その状況等も含めていろいろとお話をお伺いしたいというふうには、そのような形で進めてまいりたいというふうには考えてございます。

また、山形工科アカデミー、貴重な財産ではないのかなというふうな部分もありますので、ならば、こちらのほうの山のほうじゃなくて町場のほうにも来ていただければ、より活用というか、そういうのもしやすいのかなと私なんかは思ってるところなんですけども、ぜひともそういうのも踏まえて、何とかいろいろとお話をお伺いしていきたいなと考えてございます。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 私はいろいろと経営者の方と話し合う機会があるんですけども、これまでは1社の努力で必死にやってきたと、人材集めにしても、もう限界だというふうな声も聞こえます。つきましては、市長にお尋ねしますけども、今回、地方創生で長井市の総合ビジョンを出すわけですけども、官民一体となってオール長井でやっていかないと、もう1社、1法人での努力では限界なんですね。ですからとにかく、今、参事制をしかれて4人の参事、この方たちを大いに市長が使って、その方たちからもお話を聞いたり、そうやってとにかく官民挙げて人材確保、人材育成をすべきだと思いますが、市長の決意をお伺いします。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 五十嵐議員がおっしゃいますように、今は本当に官民一体でオール長井でいろんな課題に取り組まなければ、残念ながらこの地域の未来の存続が危ういという、私も同じ認識でございます。30年、40年前は長井市の場合

ですとまだ民間が力があつた企業などがたくさんありまして、おっしゃるように、一企業体とかグループでいろんな地域経済を支え、潤す、そういった企業がございましたけども、今はなかなか厳しい状況ですので、私ども官も民の部分と一緒に頑張っていかけていく、民も、私ども官のほうにいろいろ一緒に頑張ってやっていくような、さまざまなリーディングプロジェクトなども踏まえやっていかなきゃいけないと。つきましては、そのための未来を担う、あるいは今の長井を支えてもらう人材育成を今後いろんな角度から検討しながら、人材を育てるための努力も私ども行政でも民間の皆様と一緒に頑張っていきたくと。そしてこの地域が未来に輝ける、そんな長井にすることができるように、ぜひ私どもも頑張ってまいりますので、議会の皆様からご指導賜りたいというふうに思います。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 先ほど3Kという、いみじくも出たんですけども、当然仕事ですから何の仕事でも簡単で楽をしてお金がもらえるなんてことはないんですね。どの仕事も厳しい。その中に、また喜びもあつて達成感もあるということで、なかなか中学生、高校生の進路指導の先生あたりにも正しい情報をお知らせしないと、ただ風評だけで敬遠されている意味合いもあるんですね。ですからその辺も、やはり正しい情報発信をぜひ今後していただきたいと思います。終わります。

○**渋谷佐輔議長** ほかにご質疑ございませんか。
14番、安部 隆議員。

○**14番 安部 隆議員** お尋ねしますけども、今回、条件つき一般競争入札というようなことで実施されたわけでございますけども、当日、その会社の都合によって3社が辞退され、2社というふうなことだと思います。こういった形態が今後続くというふうなことを考えれば、や

っぱり条件つき一般競争じゃなくて、プロポーザル的な一般競争入札というものの入札方法を考えるべきじゃないかなというふうに思いますけども、その辺はいかがでしょうか、建設参事をお願いします。

○**渋谷佐輔議長** 横山賢一建設参事。

○**横山賢一建設参事** 安部議員のご質問にお答えいたします。

ただいま、今回行いました入札につきまして、条件つき一般競争入札というふうなことで、予定価格も公示しながら入札に付したというようなところがございますが、議員おっしゃるように、辞退数も多いというふうなところがあるとすれば、もう少し範囲を広げて入札を執行したらどうかというふうなご質問だと思いますが、プロポーザルの方式であれば確かに非常に範囲が広がるのかなと思いますが、仕組み的に、プロポーザルであれば、なかなか期間的に時間がかかるというふうなところであったり、あと、条件つきの条件を外した場合に、県内であったり、市外であったり、全国を含めて参加ができるというふうな状況にはなるわけなんですけども、そうした場合に、どうしても地元の企業の育成というふうな観点からすれば、やはりほかのまちの方がその仕事、長井市の事業を持っていてしまうというふうな懸念が十分考えられますので、この条件つき一般競争入札を導入する際は、あくまでも条件をつけて市内の業者というふうなところにさせていただいたところがございます。

何分、辞退があるというふうな部分につきましては、市長なり、遠藤課長のほうから話されたと思いますが、この間、資材等の高騰であったり、どうしても人件費の高騰であったりというふうなところで、積算してみたらどうしても合わないというふうなところが多々出てきたのかなというふうに考えているところがございます。ですので、そういうふうな会社の事情によ

りましてご辞退されたというふうなところもありますので、その条件を外してしまうと、やはり長井の市内の企業が育っていかないと、事業所が育っていかないとというふうな心配が非常にあるものですから、この条件つき一般競争入札につきましては、今後やっぱり私どもは堅持していかなければならないのかなというふうに考えております。ただ、物によりまして、合わないもの、プロポーザルというふうな提案型の入札も当然今やっておりますので、ケース・バイ・ケースでそういうふうなものを取り入れて、より適正な入札執行に当たっていくべきだなどというふうに考えているところでございます。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 14番、安部 隆議員。

○**14番 安部 隆議員** 確かに条件つきということで、市内の業者というようにこの考え方は、それはそれなりに理解をするところがございますけれども、こうしたように誰が見ても不透明な入札の現実というふうなことを考えれば、広く一般競争入札にして、そして市内の業者もそうしたことの刺激を受けて、切磋琢磨というふうなことに、私は逆な発想になってくるのではないかなというふうに思います。

このたびはこういったことでありましたけれども、こういったことが続くということであれば、市内の業者のそういう体制、そういう姿勢を奮起させるというようなことも必要ではないかなというふうに思っておりますので、お願いをしたいと、このように思います。

ましてや、いろんな委託事業につきましても、市のプロポーザルというように点数をつけながら指定管理者の選定等々もやっておりますので、これは理にかなったものだというふうに私は思っております。ですから、市内の業者というようにこの考え方も、これは大事ですけれども、広く募って、市内の業者もその広く募った業者の刺激によって相乗効果で建設技術、

そしていろんなそうした人的問題、それから資材の問題等々に向かっていていただけるというふうには私は思いますので、ぜひ、そういった条件つきというようにことに限らず、その辺は検討していただきたいというふうにお願いを申し上げたいというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 答弁はよろしいですか。

○**14番 安部 隆議員** じゃあ、お願いします。

○**渋谷佐輔議長** 横山賢一建設参事。

○**横山賢一建設参事** お答えします。

議員おっしゃるご提案のとおり、条件をなくした場合は、少し市内のほうの業者さんがとれなくなるというふうな状況も多々出てきようかなというふうに考えております。そうした場合に、地元、地場の企業育成というふうな観点からは、ちょっといかがなものかなというふうに考えているところでございますし、ほかの自治体さんも、全てオープンでそういうふうなところをやっていたらいいものであれば、長井市の業者もほかのところに入って仕事をとると、とってくるというふうなことも可能かなと思うんですが、ほかの自治体さんが条件をつけられて、がちっと縛られている中で長井市だけオープンにしてほかの事業者さんに入られてしまうというふうなことは、少し問題があるのかなというふうに考えているところでございます。

議員ご指摘のように、必要なものにつきましては、例えば委託事業の部分なんかにつきましては、プロポーザルの手法をとって十分正確な入札に付す、その事業に合うような入札の形態をとりながら執行しているというふうなところもありますので、ぜひその点につきましてご理解をいただければなというふうに考えているところでございます。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 14番、安部 隆議員。

○**14番 安部 隆議員** やはり一般競争入札というのも金額が1億5,000万円以上というふうになってますし、また、近隣市町の顔をうか

がってからするんだというような姿勢ではなく、そこは市独自で率先しながら、市民が一番いいような、業者に一番利益になるような方向性をとるべきだなど。余り周りの市町村なんていうことの例を挙げないでやっていただきたい。県は、既に大きな事業では一般競争入札をやってますね。事務の煩雑性や長期にわたりますけども、それが入札の透明性ということになりますと、非常に我々市民、住民にとってはわかりやすいものだなというふうに思います。条件つきで長井市の場合はAランクというふうなことで9社しかいない中で、5社がはまって3社が辞退するというのは、誰が見てもやはりこれはちょっと問題があるんじゃないですかというふうに、そういうふうになりますので、今までじゃなくて、また新たなものも考えながら、そういったことにも取り組むという姿勢が私は欲しいなということをお願いしたいというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 答弁はよろしいですか。

○**14番 安部 隆議員** いいです。

○**渋谷佐輔議長** そのほかございませんか。

11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 今回の工事に当たっては、施設の老朽化と耐震を含めて工事をしていただくということでは、必要な大事な事業だなというふうに思ってますけども、工期、11日、きょうから始まるというふうなことになっております。学校については、今は夏休み中ですが、2学期、そして工期終了が2月いっぱいということで卒業式直前に終了というふうなことを考えますと、2学期、3学期の体育を中心にした授業への影響、あと、各種いろいろな式典等の準備などに支障がないのか、子供たちの教育時間の中での工事の影響、安全等については、十分業者さんとのすり合わせの中で進めるというふうなことだとは願っておりますけども、その辺の教育に影響がないのかどうか、教育総務課

長に伺いたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤敏男教育総務課長。

○**遠藤敏男教育総務課長** お答えいたします。

当初想定していたのは、年内、12月いっぱいぐらいで終わればいいなというふうに我々も考えておまして、特に冬場になりますと、グラウンドが使えなくなるというので、そういうふうなことでももちろん調整させていただいたんですが、豊田小の体育館については、東側と西側に大きい窓がございますが、あそこの部分を全面的に改修する必要があるということで、その部分が相当な時間を要するというので、いや、まいったなというのが正直あるんですけども、2月の末のほうまで工期を延ばさざるを得ないというような状況でございました。

学校との調整という部分ですが、一番最初に、その部分をどうするかということをもろろん学校といろいろ協議をしましてまいりましたが、月2回、我々と業者さんと学校とで定期的な打ち合わせを行います。安全対策、ご指摘の部分も含めまして、実際に授業がこうだからこうしようとかというような、いろいろ細かく打ち合わせをしましてまいりますので、その辺の部分については、その都度その都度の課題を解決しながら、極力学校の授業には影響のないように進めてまいりつもりでございます。よろしくご理解いただきたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 工期については、今、説明あったとおり、できれば年内というふうなことですが、昨年だったかな、豊田小学校の工事の前、視察させていただいて体育館も見せていただいて説明を受けた折に、やっぱり体育館の窓については、今、課長からあったように、非常に開閉も含めて老朽化が進んでいるというふうな説明も受けたので、工事の工期が長くなるというのは、これはしょうがない部分だなというふうに理解します。ただ、今、課長からあ

ったように、最低、授業に支障のないようにというふうなことで、特に体育関係の授業のカリキュラム等は全く影響なしで工事が進むというふうに理解していいのか、今の答弁からいうとどうでしょうか。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤敏男教育総務課長。

○**遠藤敏男教育総務課長** この工事期間については8月11日となっておりますが、実際に足場を組んで云々始めるのは9月ぐらいからと思いますが、そこから2月の末までについては体育館は使えない状況になりますので、その中で調整ということでございます。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** そうすると、私、勘違いとか、全く使えないということであるとすれば、教育長にお伺いしますが、いわゆる子供らの教育の例えば代替の施設なり、どういうふうに対応されるのか、確認をさせていただきたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 加藤芳秀教育長。

○**加藤芳秀教育長** 小関秀一議員の質問にお答えいたします。

体育館が長期にわたって使えなくなるということでございますので、体育のカリキュラムに影響するというのは当然でございます。ただ、豊田小学校においては、既に軽運動室が改修が終わっておりまして、あそこで、体育館のようなぐあいにはいかないと思いますが、体を動かす体操とか、あるいは器械運動等については活用できるというふうに考えてございます。また、夏場はグラウンドを目いっぱい使うということと軽運動室の併用、それから冬場については、豊田小学校は特にスキーが盛んでありますので、積極的に野外のスキーに取り組むと、あるいは縄跳びとかけん玉の活用とか、そういったことで運動不足を補っていくということになるかと思っております。まずは安全第一で進めてまいりたいというふうに考えております。

あと、行事についての質問もありましたけども、実は去年も豊田小学校は大規模改修でいろいろと都合が悪かったということもあったわけですが、学習発表会という大きな行事など、中学校でいえば文化祭に当たるようなものもありましたけども、そこについては、市民文化会館を活用して地域の人にも広く見ていただいたということで、今年度も既に会場予約をしているということでございました。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 子供らの安全と教育とか、授業がスムーズに進む、支障のないように工事のほうも進めていただきたいという希望であります。

あと、振り返りますと、西根小学校の工事の際の事故等もあったわけで、やっぱり工事の安全面での市の発注者の管理体制というのは、なお一層、あの事故を教訓にとか、管理体制をしっかりとさせていただきたいという、これは希望であります。

最後に、その辺の状況、管理等、課長でいいのか、じゃあ、建設参事から、工事の安全面での管理体制が西根小学校の事故以来どういうふうに検証されて新たな対応を考えられておるのか、業者さんとのすり合わせの中でどういうふうに対応していかれるのか、お伺いしたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 済みません、回答者については教育総務課長からお願いしたいと思います。訂正します。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤敏男教育総務課長。

○**遠藤敏男教育総務課長** お答えいたします。

昨年事故は、非常に私どもとしても残念であり、心を痛めているところでございます。当然ながら、先ほど説明しました月2回の業者さんとの打ち合わせ、安全対策というものをやっぱり一番に進めていただくことは、その都度、

その都度もちろんでございますけれども、まず一番最初の打ち合わせをさせていただくときに、そのところはしっかりとお願いをしていくというようなところで進めてまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

午前10時41分 閉会

○**渋谷佐輔議長** ほかにご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

会議録署名議員

○**渋谷佐輔議長** ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

議長 渋谷 佐 輔

それでは、討論を行います。ご意見ございませんか。

7 番 渡 部 秀 樹

(「なし」と呼ぶ者あり)

8 番 今 泉 春 江

○**渋谷佐輔議長** ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

9 番 梅 津 善 之

議案第72号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○**渋谷佐輔議長** 起立全員であります。

よって、議案第72号は、原案のとおり決定いたしました。

最後に、お諮りいたします。

本臨時会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

閉 会

○**渋谷佐輔議長** これをもって平成27年第5回長井市議会臨時会を閉会いたします。

ご協力まことにありがとうございました。